ヨド物置 エスモ
組立説明書

(ESF-0805Y、0805D、0805A、0807Y、0807D、0807A)

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」を必ずお読みください。
なお、この説明書は、0805A型を基準に書いてありますが、組み立て方法は、全タイプとも同じです。

設置場所の制限

⚠注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- 崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

組立施工の際には

⚠注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。

お願い

- 組立の際には手袋を着用してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- 高い足場が必要な場合は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

※市販のコンクリートブロック(幅19cm×長さ19cm×高さ10cm)を、4個ご用意ください。

〈施工にあたって〉

安全のため必ず軍手等の手袋を着用してください。

1.まず、ご注文通りの商品かどうかを下の梱包組合せ表・梱包内容表にてご確認ください。
2.基礎ブロックは市販のコンクリートブロックをご使用ください。
3.部品の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組み立ててください。
4.部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
5.組み立ての際、指を挟んだりしないようにご注意ください。

〈安全なご使用のために〉

※取扱説明書を必ずお読みください。

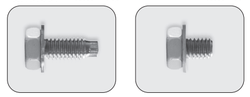
1.庫内に入るときは、扉を開放状態にし、絶対に閉めないでください。
2.鍵により施錠する際は、庫内に人がいないことを必ず確認してください。また、使用しないときは、必ず鍵による施錠をしてください。
3.小さなお子様には、使用させないでください。
4.組立後も棚位置の移動等を行う場合は、安全のため軍手等の手袋を着用してください。
5.使用される方に、上記内容を周知してください。

組立動画配信中! https://www.yodomonooki.jp/

※動画は3枚扉のものになります。

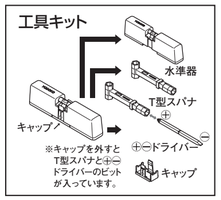
鍵は扉・後壁梱包の小箱(30×50×80mm)の中にあります。

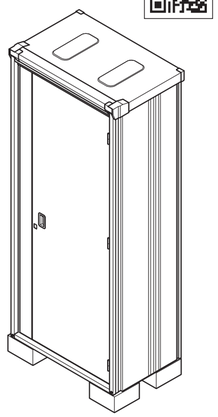
使用ボルト　M6×15　　M6×8

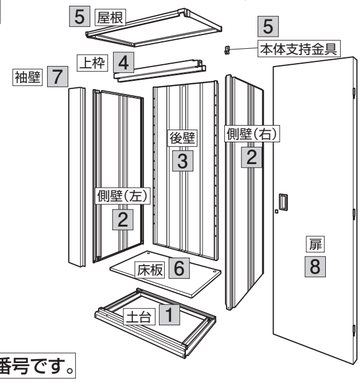


組立用ボルトは2個予備があります。
(色:シルバー1個、色:ゴールド1個)
※0807Yは4個予備があります。
(色:シルバー1個、色:ゴールド3個)

工具キット







物置部材構成図

上記の番号は組立手順の番号です。

梱包組合せ表

梱包 ＼ 機種	0805Y	0805D	0805A	0807Y	0807D	0807A
側壁梱包	ES6-0471	ES6-0473	ES6-0475	ES6-0472	ES6-0474	ES6-0476
屋根床梱包	ES6-0922	ES6-0923	ES6-0923	ES6-0924	ES6-0924	ES6-0924
扉・後壁梱包	ES6-1771	ES6-1772	ES6-1773	ES6-1771	ES6-1772	ES6-1773
棚板梱包	ES6-1947	ES6-1948	ES6-1948	ES6-1949	ES6-1949	ES6-1949

梱包内容表

ご確認のうえ、説明書に従って組み立ててください。

梱包番号	屋根床梱包 ES6-0922	屋根床梱包 ES6-0923	屋根床梱包 ES6-0924	側壁梱包 梱包番号	側壁梱包 ES6-0471, ES6-0472 ES6-0473, ES6-0474 ES6-0475, ES6-0476
部材名	数量			部材名	数量
屋根パネル	1	1	1	側壁・右	1
上枠	1	1	1	側壁・左	1
土台	1	1	1	扉・後壁梱包	
床板	1	1	1	梱包番号	ES6-1771 ES6-1772 ES6-1773
上枠取付金具左(右)	各1	各1	各1		
棚受	-	-	8		
棚受金具	8	12	-	部材名	数量
工具キット	1セット	1セット	1セット	扉	1
本体支持金具 セムスボルト(色:シルバー)	各2	各2	各2	後壁	1
				袖壁	1
セムスボルト(色:シルバー) M6×15	7	7	7	取手・小	1
セムスボルト(色:ゴールド) M6×15	18	20	20	鍵	2本
アンカープレートA左(右)	各1	各1	各1	棚板梱包	
アンカープレートB左(右)	各2	各2	各2	梱包番号	ES6-1947
アンカープレートC左(右)	各1	各1	各1	部材名	数量
セムスボルト(色:シルバー) M6×8	8	8	8	棚板	2
アジャスターボルトキャップ	2	2	2	梱包番号	ES6-1948
アジャスターボルトキャップNM左(右)	各1	各1	各1	部材名	数量
組立説明書	1	1	1	棚板	3
取扱説明書	1	1	1	梱包番号	ES6-1949
保証書	1	1	1	部材名	数量
組立チェックシート	1	1	1	棚板	4

●アンカー工事について

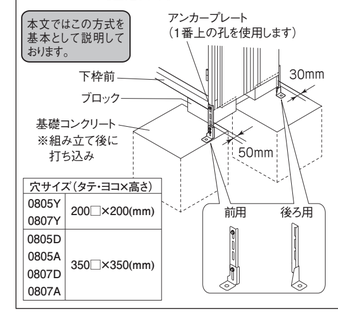
アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

《土の上に設置する場合》

4隅に穴を掘り(下図参照)、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレートを固定します。

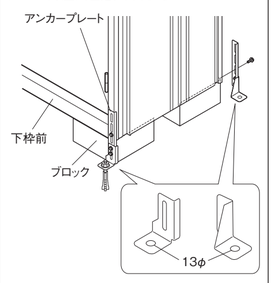
本文ではこの方式を基本として説明しております。



穴サイズ(タテ・ヨコ×高さ)	
0805Y 0807Y	200□×200(mm)
0805D 0805A 0807D 0807A	350□×350(mm)

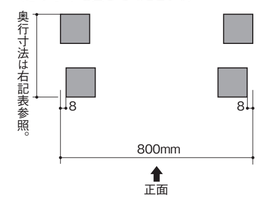
《コンクリート床の上に設置する場合》

オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー(M12-70以上)で固定してください。



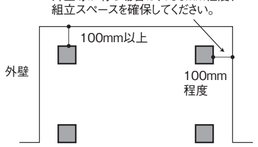
前工程 ブロックの設置

ブロックを図の寸法に並べます。
(必ず水平を出してください。)



※ブロック配置寸法は右記表を参照してください。

外壁等が有る場合は、100mm程度、組立スペースを確保してください。



配置寸法表

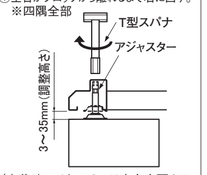
機種名	奥行寸法
0805Y	513
0805D	513
0805A	513
0807Y	750
0807D	750
0807A	750

※単位:mm

1 土台の設置

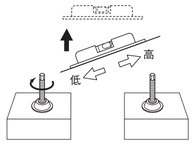
①ブロックの上に土台を置いて、四隅のアジャスターをT型スパナで、土台がブロックから離れるまで右に回します。固くて回らないときは、T型スパナの孔に⊕⊖ドライバーを差すと回しやすくなります。
②水準器を土台に置いて、低い所のアジャスターをT型スパナで右に回し、水平を出してください。
※土台の調整可能高さは 3～35mm です(32mm 調整可)。

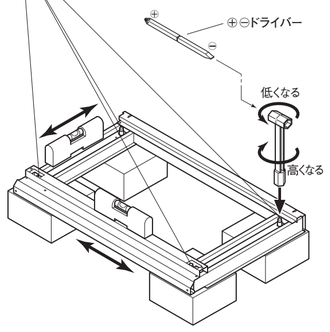
①土台がブロックから離れるまで右に回す。
※四隅全部



(出荷時、アジャスターは土台底面より約3mm飛び出しています。)

②四隅のアジャスターで水平を出す。
<水準器の使い方>
気泡がよる方向(高)と逆側(低)のアジャスターを右に回します。気泡が二線の間に来ると水平です。





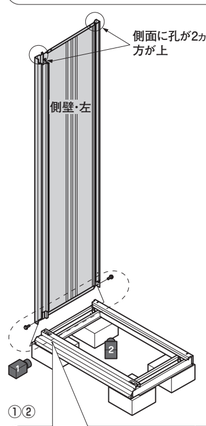
注意
土台の水平が出ていないと以下のような不具合がでてきます。
・壁パネルが入らない
・扉がスムーズに動かない
・鍵がかからない

注意
前方転倒防止金具を使用するときは、前方転倒防止金具セット(オプション)の組立説明書を先にお読みください。

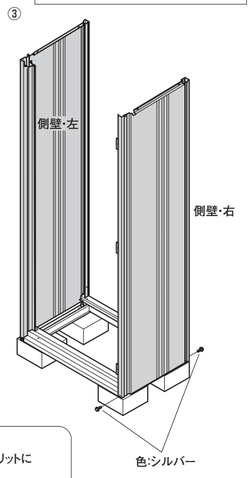
2 側壁の取り付け

①ⓐ.側壁・左の下面前側の金具を土台に差し込みます。1
ⓑ.側壁・左の後側のツメを土台のスリットに差し込みます。2
②前側、後側をボルト(色:シルバー)で固定します。先に後側を固定すると安定します。
③側壁・右も、同様にして取り付けます。

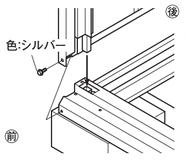
注意 強風により倒れることがありますので注意してください。



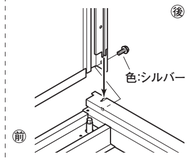
側壁の垂直を確認してボルト止めします。



1
ⓐ.側壁の下面前側の金具を土台に差し込む



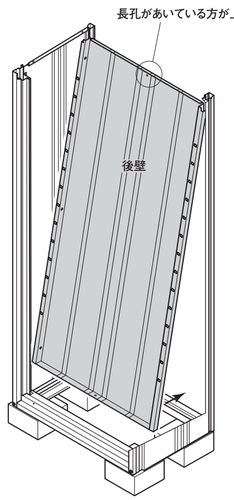
2
ⓑ.後側のツメをスリットに差し込む

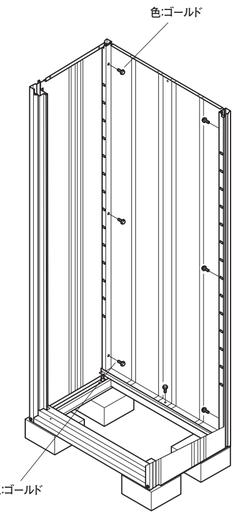


拡大図は全体図のカメラ■の視点から見た図になっています。

3 後壁の取り付け

①後壁を室内に入れ、左右の側壁の間にはめ込みます。
②後壁と側壁、土台をボルト(色:ゴールド)で仮止めします。
(転倒防止のため、上側から仮止めしてください。)

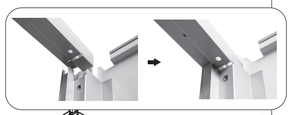




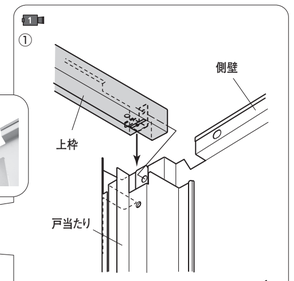
4 上枠の取り付け

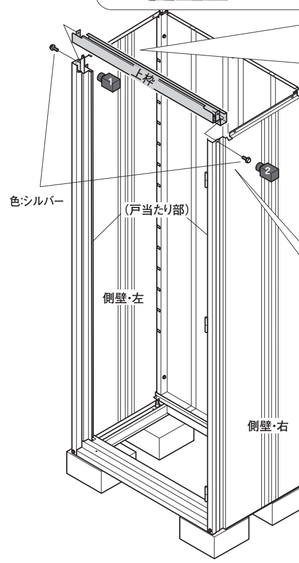
①側壁の戸当たり部に上枠を乗せ、側面からボルト(色:シルバー)止めします。
②上枠に上枠取付金具左を差し込み、上枠と戸当たりをボルト(色:ゴールド)止めします。

注意 上枠取付金具には左右があります。

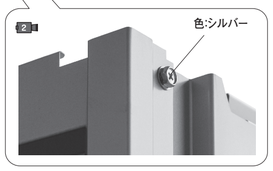


1



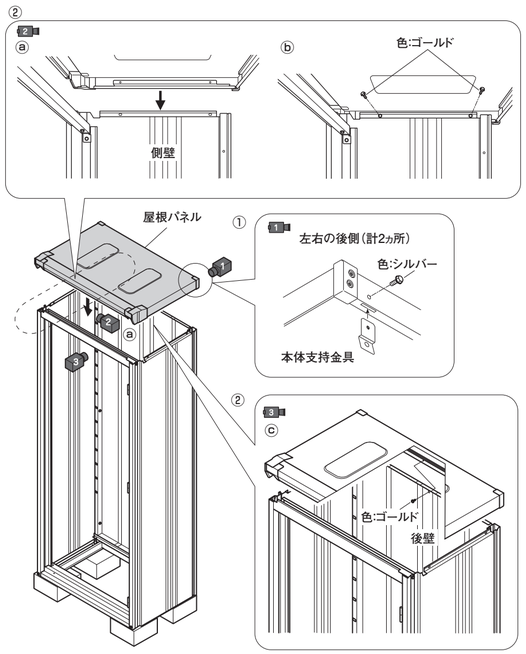


2



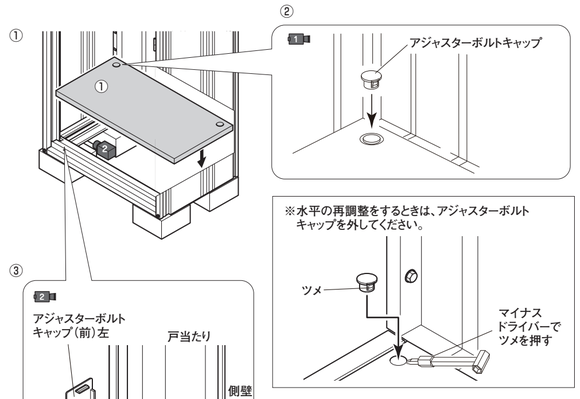
5 屋根パネルの取り付け

①**本体支持金具**のボルト(色：シルバー)を一度外して、**屋根パネル**に本体支持金具を差し込み、**ボルト**止めします。1
②ⓐ. **屋根パネル**を**側壁・上枠・後壁**の上にかぶせます。2
ⓑ. **側壁**と**屋根パネル**を**ボルト**(色：ゴールド)で固定します。
ⓒ. **後壁**と**屋根パネル**を**ボルト**(色：ゴールド)で固定します。



6 床板の取り付け

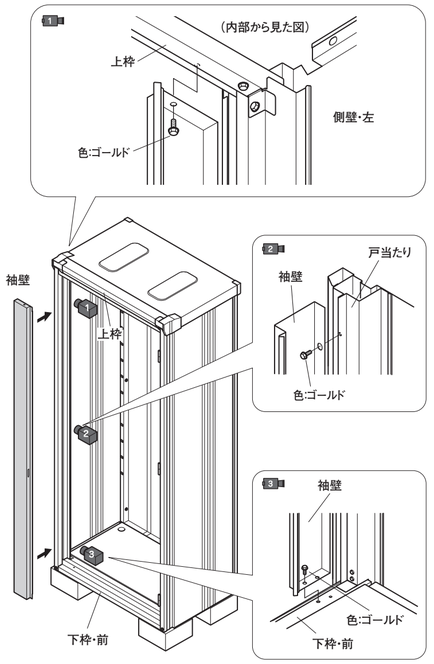
①**床板**を置きます。(孔がある方を後にして置きます)
②後隅の2ヵ所に**アジャスターボルトキャップ**を取り付けます。1
③**アジャスターボルトキャップ(前)**を取り付けます。(2ヵ所) 2
※水平の再調整をするときは、外してください。



注意 アジャスターボルトキャップ(前)には左右があります。

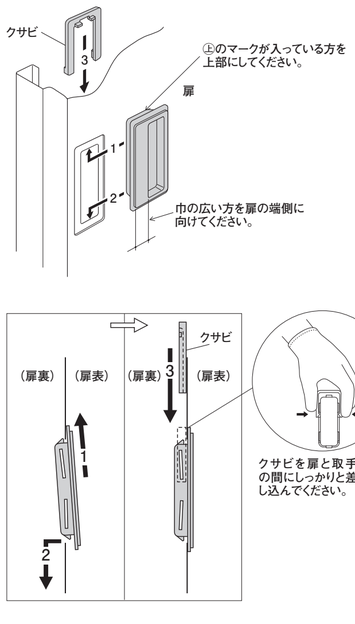
7 袖壁の取り付け

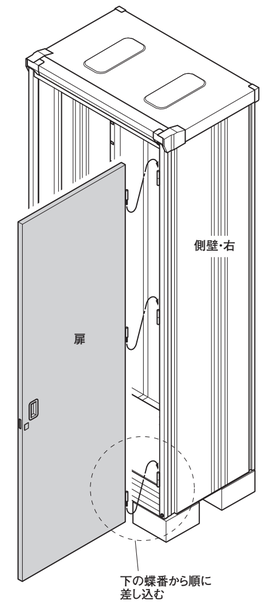
袖壁を正面左側にはめ込み、**上枠**と**下枠・前**と**戸当たり**にボルト(色：ゴールド)止めします。



8 扉吊り込み

※取手は扉・後壁梱包に入っています。
①取手を扉に取り付けます。取手裏側の㊤のマークが入っている方を上部にして、クサビを差し込んで固定してください。
②扉の蝶番を**側壁・右**の蝶番に、差し込んでください。
(0805Y型・0807Y型の蝶番は2ヵ所となっています。)
この際、**扉**は90°以上開いた状態で下の**蝶番**から順に差し込んでください。

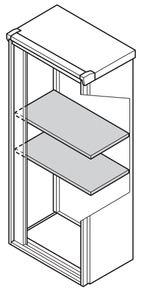




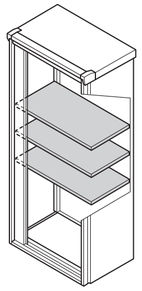
9 棚板の取り付け

収納物や使い勝手を考慮し、棚板の位置を決めてください。

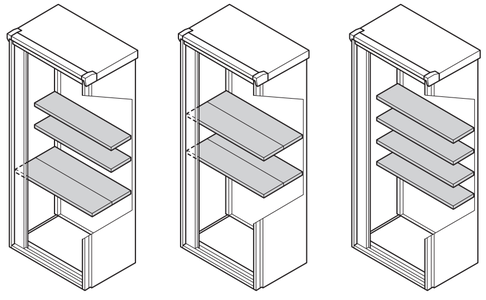
〈0805Y型の棚取り付け例〉



〈0805D型・0805A型の棚取り付け例〉

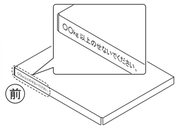


〈0807Y型、0807D型、0807A型の棚取り付け例〉
※前後分割が可能です。



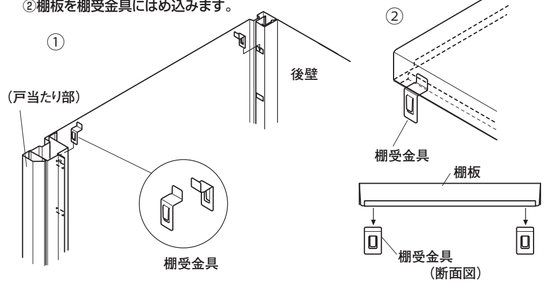
機　種	棚板枚数
0805Y	2枚
0805D、0805A型	3枚
0807Y、0807D型、0807A型	4枚

⚠ 注意 **制限重量を表示している面が正面に見えるように取り付けてください。**



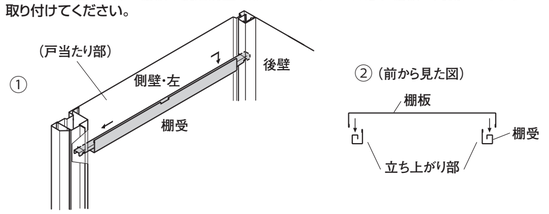
〈0805Y、0805D、0805Aの場合〉

①**棚受金具**を**戸当たり部**、**後壁**の角孔に差し込みます。
②棚板を棚受金具にはめ込みます。



〈0807Y、0807D、0807Aの場合〉

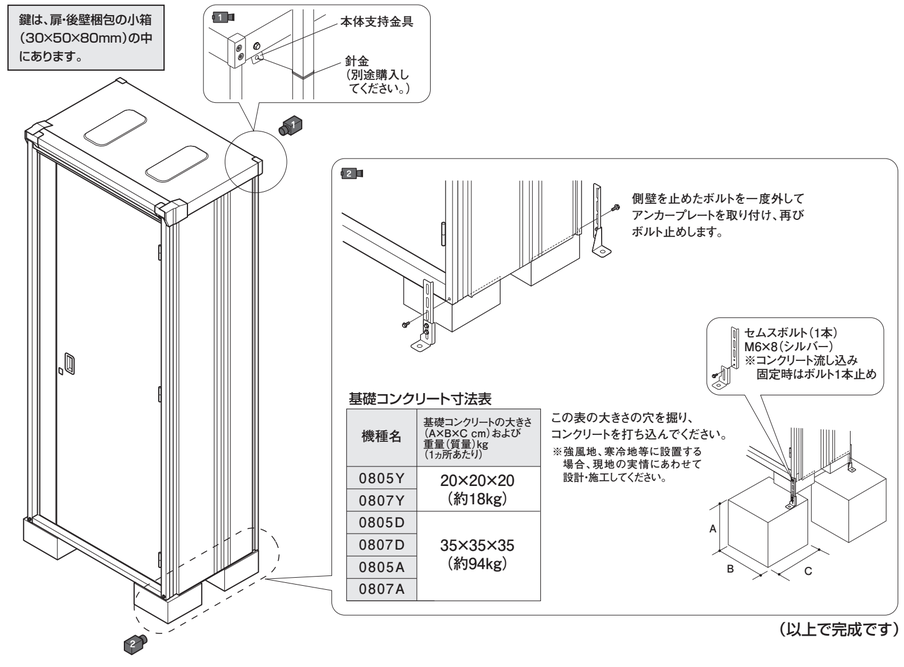
①**棚受**の前側を**戸当たり部**の角孔に差し込みます。次に後側を**後壁**の角孔に引き戻し、切り欠き部を角孔に落とし込みます。
②棚板を棚受にはめ込みます。
※棚受の立ち上がり部は棚板の脱落防止を兼ねていますので、必ず棚板の内側にくるように取り付けてください。



10 組立完成図

①転倒防止のため、必ず**本体支持金具**に**針金**(針金は別途ご購入ください)を通し、母屋などに固定するか、アンカープレートを前後4ヵ所に取り付け、コンクリートを打ち込みます。
②最後に各部の直角を確認して**ボルト**をもう一度しっかり締め直してお使いください。

鍵は、扉・後壁梱包の小箱(30×50×80mm)の中にあります。



基礎コンクリート寸法表

機種名	基礎コンクリートの大きさ(A×B×C cm)および重量(質量)kg (1ヵ所あたり)
0805Y	20×20×20 (約18kg)
0807Y	
0805D	35×35×35 (約94kg)
0807D	
0805A	
0807A	

この表の大きさの穴を掘り、コンクリートを打ち込んでください。
※強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情にあわせて設計・施工してください。

(以上で完成です)

お客様へ
組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ
取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

(ESF-0805Y他)

ヨドコウ

ESF-0805YDA_KS_2025A